

ジャンボ紙飛行機 CHICK-GRX

Active Gals News

2009.04.25



かかみがはら航空宇宙科学博物館に保存・展示

4月25日(土) かかみがはら航空宇宙科学博物館に、昨年の第15回ジャパンカップ(日本紙飛行機協会主催)のジャンボ紙飛行機部門の優勝機を展示して頂くことになりました。当館は、わが国の航空機の歴史の礎となった約30機の実機や復元機を常設展示しているわが国最大の航空宇宙科学博物館です。“アクティブギャルズ”は、当館開館時に日本初の女性パイロットによる人力飛行に成功した人力飛行機 **HYPER-CHICK“KoToNo Limited”**を永久保存・空中係留して頂きました。今回は昨年のジャパンカップで話題を振りまき、ジャンボ紙飛行機の新時代を開拓したとの評価を得た“**CHICK-GRX**”の壁面展示です。

私達が開発した人力飛行機は、当館の **HYPER-CHICK“KoToNo Limited”**と三沢航空宇宙科学館の“**CHICK-2000**”の2機あり、いずれも保存・常設展示されています。両機共、人力飛行機や鳥人間コンテストに取組む愛好家達の手本となりました。

今回は、人は乗れないながらも大きな夢を育むジャンボ紙飛行機です。紙飛行機の愛好家は、老若男女を問わず全国で20万人を超えます。中でもジャンボ紙飛行機は、技術や取り組み姿勢、飛行に独特のこだわりが要求される特異な分野です。





“CHick-GRX”は、翼長 7.6m、全長 3.94m、重量 17kg で、紙だけで製作されています。ご覧のように、主翼には前進角、尾翼に V テールの揚力尾翼と、独特のフォルムの機体です。パイロットと左右のウイングランナー、テールランナーの 4 名の数十回に及ぶランニングテストと微調整を繰り返し、数人のサポーターの協力のもとに飛行に臨みました。当日は、ジャンボ紙飛行機のフライトに申し分のない天候で、4 名の息もピッタリ！ 大勢のギャラリーの注目の中、見事な大フライトで優勝に輝きました。機体は無傷で回収でき、今回の壁面展示の運びとなりました。

展示は、当館のボランティアの皆様方のご協力を得て、無事に終えることが出来ました。ここに、お礼申し上げます。どうぞ皆様方のご来館をお待ちいたしております！

HomePage : <http://www.fsinet.or.jp/~active-g/>

